

海外ではどのようなように食文化を継承しているのか。

ユネスコ無形文化遺産に登録された、各国の活動・取り組みをご紹介します。



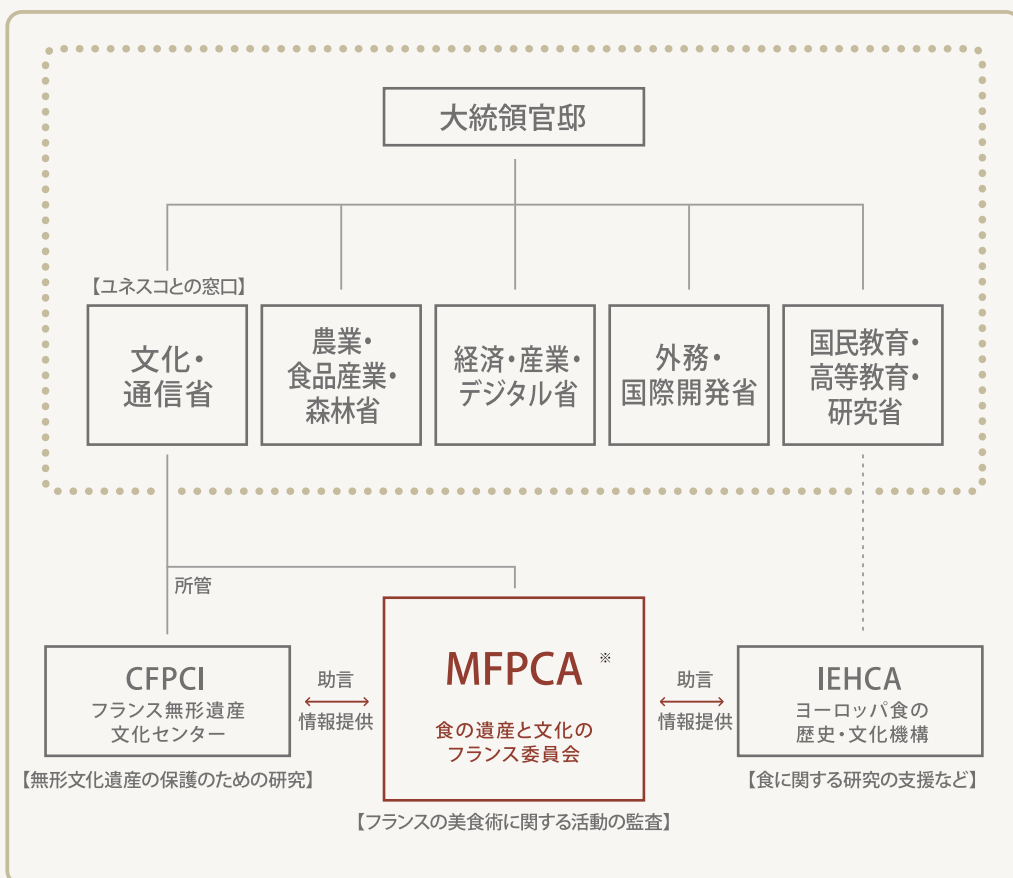
「フランスの美食術」の事例

「フランスの美食術」は、結婚や出産・誕生日などの節目の日に、家族や友人とテーブルを囲んで祝う伝統的な食文化。豪華さよりも、みんなで食事を楽しむことを大切にしています。

この食文化の保護・継承活動に取り組んでいるのが、文化・通信省の傘下にあるMFPCA（食の遺産と文化のフランス委員会）という組織です。

MFPCAは、子どもや高齢者を対象とした食育や、国内への情報発信、美食術に関する施設の設定など、広く継続的に活動しています。またフランスでは、各省・各団体が、独自の目的で継承活動を行います。

たとえば、農業・食品産業・森林省では、年に1回、「味覚の1週間」と呼ばれる強化週間で、子どもたちの味覚を育てるための様々な取り組みを行っています。



※ユネスコ無形文化遺産登録上の保護・継承措置の責任団体